

# 東京堂出版

古記録から当時の天候を復元することで、地震や大雨などの災害の他、飢饉や疫病の発生、また合戦で火を使わなかった理由など、歴史の中の多くの史実が見えてくる！

## 古記録による天候記録 (全6巻)

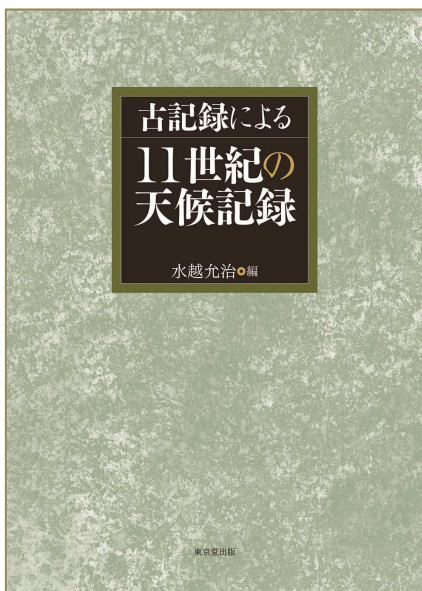
水越允治 編

〔三重大学人文学部教授、京都大学防災研究所教授（併任）。  
皇学館大学社会福祉学部教授等歴任。現在三重大学名誉教授。〕

キーワード：地学・災害・防災・地理・日本文学・日本史

同時アクセス1 セット価格： 457,600 円(+税)

同時アクセス3 セット価格： 686,400 円(+税)



### 本書の内容と特色

- 1001年1月1日～1600年12月31日を1ヶ月毎に一覧表でまとめた。
- 天候記事や干ばつ、洪水、地震などの自然災害も記録されている。
- 数多の出典史料も明記。目次機能で年毎にリンク！（テキスト検索不可）



見本

1028年9月 長元元年8月4日～9月4日 天気表

日	付	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
和	曆	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日	8月10日	8月11日	8月12日	8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月17日
左	経	天陰、時々微雨 ①	天晴（中略） 後雨 備行事無 有百度 ②	天晴		天陰、降 雨	天陰、從 今晚大風、 及兼燭之 間休 ③	天晴	天晴	午後天陰、 甚雨	天陰、 時々風雨	天晴		天陰、 時々風雨	天陰、終 日甚雨
小	右		或云、昨 雷落左大 史貞行宿 禰四条宅、 擲女一人 云々				從昨風雨、 就中晚更 以來大風、 爾時風止 ④								
小	記	目録	雷落左大 史貞行宅 事												
日	本	紀	略												

①「及未刻申、有頃甚雨、不幾時之間雷一声、甚以高大也、風伝、太夫史貞行宿禰四条家雷落、打擲女房二人云々（後略）」  
②「并兼程座等、自余事始常云々（後略）」  
③「但雨不降（中略）今日少福花定有損映（後略）」  
④「毎日転読仁王一卷、今日為擲天下風災、殊致信心、奉転読一部」

各巻詳細

※表示価格は税抜きです。

	<b>古記録による11世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥77,000(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥115,500(+税)
			底本ISBN	9784490208641
			底本発行年	2014年
			商品コード	1016436434

**平安時代**  
○本書は、1001年1月1日（長保2年11月28日）から1100年12月31日（康和2年11月22日）まで、平安時代の日々の天気記事を西暦の日付に従って、1ヶ月ごとに一覧表にまとめた。  
○天気記事の典拠史料は「権記」「御堂関白記」「小右記」「紫式部日記」「土右記」等、刊本・原本・影印本・写本等を含む約100種天体記事や天体記事や早魃、洪水、地震などの自然災害なども記した。  
○11世紀は『源氏物語』が形成され、藤原家による摂関政治が全盛を極めるが、藤原氏の衰退とともに、後三条天皇の親政が契機となり、院政がはじまった時代である。地方では、荘園に武士が台頭し、荘園整理令の発令により、荘園公領令が発展していった。古代から中世へと変化する時代の天候記録として貴重な資料になっている。

	<b>古記録による12世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥77,000(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥115,500(+税)
			底本ISBN	9784490207859
			底本発行年	2012年
			商品コード	1016436435

**平安時代後期**  
○本書は、1101年1月1日（康和2年11月23日）から1200年12月31日（正治2年11月17日）まで、貴族社会から武家社会へ移行する平安時代後期の日々の天気記事を西暦の日付に従って1ヶ月毎に一覧表にまとめた12世紀の初の天候記録である。  
○天気記事の典拠史料は「殿歴」「中右記」をはじめ、「山槐記」「吉記」「兵範記」など刊本・原本・影印本・写本等を含む217種に及び、天体記事や早魃、洪水、地震、噴火などの自然災害、京都大火、飢饉、疫病などの災害記事、神仏記事も記した。  
○平治・保元の欄、源平合戦などが起こり、寺院の衆徒・僧徒などの争いも頻発し、政情が不安定で混乱した国情の時代の天候記録として貴重な資料となっている。

	<b>古記録による13世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥77,000(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥115,500(+税)
			底本ISBN	9784490207002
			底本発行年	2010年
			商品コード	1016436436

**鎌倉時代**  
○本書は、1201年1月1日（正治2年11月18日）から1300年12月31日（正安2年11月13日）まで、100年間の日々の天気記事を西暦の日付に従って、1ヶ月ごとに一覧表にまとめた13世紀の初の天候記録である。  
○天気記事の典拠史料は「明月記」をはじめ「吾妻鏡」など、刊本・原本・影印本・写本等を含む約259種に及び、地震・火災・疫病などに関連した事柄も記した。鎌倉時代の大火や飢饉の多さを裏付ける貴重な資料。  
○13世紀は、15世紀・16世紀の天候記録と同様に記録が多く、天候復元研究の基礎資料となり、また日本史の視点からは新たに13世紀を見直す研究資料となる。

	<b>古記録による14世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥66,000(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥99,000(+税)
			底本ISBN	9784490206258
			底本発行年	2008年
			商品コード	1016436437

**鎌倉時代末・南北朝期**  
○本書は、1301年（正安2年12月14日）から1400年（応永7年12月7日）まで、鎌倉幕府滅亡後、南北朝分裂期を含み政情不安な期間であった100年間の日々の天気記事を西暦の日付に従って、1ヶ月ごとに一覧表にまとめた14世紀の初の天候記録である。  
○天気記事の典拠史料は「実朝卿記」をはじめ「圓太歴」など、刊本・原本・影印本・写本等を含む約195種に及び、地震・火災・疫病などに関連した事柄も記した。  
○14世紀は、15世紀・16世紀の天候記録と比べると記録が少ないが、天候復元研究の基礎資料となり、また日本史の視点からは新たに14世紀を見直す研究資料となる。

	<b>古記録による15世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥83,600(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥125,400(+税)
			底本ISBN	9784490205800
			底本発行年	2006年
			商品コード	1016436438

**室町時代中期**  
○本書は、1401年（応永7年12月8日）から1500年（明応9年12月1日）まで、室町時代中期の100年間の日々の天気記事を西暦の日付に従って、1ヶ月ごとに一覧表にまとめた15世紀の初の天候記録である。  
○対象地域は、主に京都・奈良で近畿地方とその周辺が中心となっているが、会津・甲斐・信濃・上野・下野・安芸・肥後などその他の地域も一部収録されている。  
○本書は天候復元研究の基礎資料となり、年単位の天候の傾向が把握できる特徴がある。日本史上の出来事に重ね合わせると応仁の乱前後の時代を新しい角度で読み取ることが出来る研究資料となる。

	<b>古記録による16世紀の天候記録</b>		学術・1アクセス	¥77,000(+税)
	著編者名 出版社	水越 允治 東京堂出版	学術・3アクセス	¥115,500(+税)
			底本ISBN	9784490205169
			底本発行年	2004
			商品コード	1016436439

**中世・戦国期**  
○本書は、1501年（明応9年12月2日）から1600年（慶長5年11月26日）まで、室町時代後期から安土桃山時代の日々の天気記事を西暦の日付に従って、1ヶ月ごとに一覧表にまとめた16世紀の初の天候記録である。  
○「大乗院寺社雑事記」「御湯殿上の日記」「実隆公記」など153種の古記録から16世紀100年間の天気を拾い出し、月ごとにまとめたもの。16世紀の近畿・東海の地方の天気を知る唯一好個の史料。